



科目ナンバリング：UTL-3-201-01

■授業の目的及び到達目標

地理歴史科の教育目標、育成すべき資質・能力を理解し、学習指導要領に示された学習内容について学問領域における成果を踏まえて理解し、適切な授業設計ができる力を身につけることを目的とする。学習指導要領に示された目標、学習内容を理解し、様々な学習理論や方法をもとに、授業設計と学習指導案を作成できるようにすることが到達目標である。

■授業計画

〔前期〕

- 1 社会科・地理歴史科の位置づけ
学習指導要領の変遷と社会科・地歴科の位置づけについて
- 2 教科の目標
学習指導要領における高校地歴科、中学校社会科地理的分野、歴史的分野の目標について
- 3 指導内容・指導上の留意点(1)
中学校社会科地理的分野の内容及び指導上の留意点について
- 4 指導内容・指導上の留意点(2)
中学校社会科歴史的分野の内容及び指導上の留意点について
- 5 指導内容・指導上の留意点(3)
高校日本史A・Bの内容及び指導上の留意点について
- 6 指導内容・指導上の留意点(4)
高校世界史A・Bの内容及び指導上の留意点について
- 7 指導内容・指導上の留意点(5)
高校地理A・Bの内容及び指導上の留意点について
- 8 新課程科目の指導内容・指導上の留意点
新教科歴史総合・地理総合、探究科目の内容及び指導上の留意点について
- 9 学習評価
地歴科における学習評価のあり方について
- 10 教材研究のすすめ方
学問領域における研究成果を取り入れた教材研究のすすめ方について
- 11 発展的な学習
発展的な学習内容の取扱いについて
- 12 中高の各段階を踏まえた指導
児童・生徒の発達段階を踏まえた学習指導について、中高連携の教育計画について
- 13 ICT活用
ICT機器の活用と授業設計について
- 14 関心を高める工夫
生徒の興味関心を高める教材の開発と活用について
- 15 前期の学修の総括
前期のまとめと試験 これまでの学習内容について振り返り、各自の到達度と課題を総括する。

〔後期〕

- 1 中学校における様々な学習形態
中学校におけるアクティブ・ラーニング グループワークやペアワークのすすめ方について
- 2 高等学校における様々な学習形態
高校におけるアクティブ・ラーニング
ジグソー法やワールドカフェの活用について
- 3 学習指導案の作成(1)
学習指導案の作成について (1) 学習指導案の書式や書き方について具体的に学ぶ
- 4 学習指導案の作成(2)
学習指導案の作成について (2) 学習指導案を作成する単元の授業設計をレポートする。
- 5 学習指導案の作成(3)
学習指導案の作成について (3) 学習指導案を作成し、提出する。
- 6 模擬授業演習(1)
授業研究 中学校地理的分野について模擬授業を通して検討する。
- 7 模擬授業演習(2)
授業研究 中学校歴史的分野について模擬授業を通して検討する。
- 8 模擬授業演習(3)
授業研究 高校世界史Aについて模擬授業を通して検討する。
- 9 模擬授業演習(4)
授業研究 高校世界史Bについて模擬授業を通して検討する。
- 10 模擬授業演習(5)
授業研究 高校日本史Aについて模擬授業を通して検討する。
- 11 模擬授業演習(6)
授業研究 高校日本史Bについて模擬授業を通して検討する。
- 12 模擬授業演習(7)
授業研究 高校地理Aについて模擬授業を通して検討する。
- 13 模擬授業演習(8)
授業研究 高校地理Bについて模擬授業を通して検討する。
- 14 授業改善に向けて
授業改善の視点と実践研究の動向把握方法について
- 15 学修の総括
1年間のまとめと試験 1年間の学習内容をまとめ、各自の到達度と課題を総括する。

■授業の方法

前期は講義が中心となるが、各自に学習指導要領の読み込みなどの主体的な学習を求める。またアクティブ・ラーニングやグループワーク、模擬授業など実践的な演習も十分に時間を取って学んでいく。

■予習・復習

毎時間、次の授業内容に関する事前の調べを求めていく。そのことをもって予習とする。また各授業の終了時にはリアクションペーパーなどを記入させるが、その記入の際に毎回の授業内容をまとめることを求める。それをもって復習としていく。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

成績評価は試験、小テスト、提出物、授業への参加状況などによって評価していく。その割合は試験（小テストも含む）50%、提出物 40%、模擬授業や授業への取り組み状況など 10%を総合的に評価する。試験後にはフィードバックとして解説を行う。

■教科書・参考書

教科書：文部科学省『中学校学習指導要領』（平成 29 年告示）『高等学校学習指導要領』（平成 30 年告示）。

参考書：授業時に指示する。

■関連する科目

「日本史」「外国史」「自然地理学」「地誌」「社会科（公民的分野）・公民科教育法」などが直接関連するものだが、そのほか教職課程に関する科目すべてが関連する。

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

講義を担当する戸川 点、三木 健詞ともに東京都立高校で地歴科・公民科の教員として勤務した実績を持っている。地歴科各科目の実際の授業を担当した実績を持つほか、教育実習生の指導や管理職として所属校の地歴科・公民科教員への指導実績も持つ。